

工業用強制乾燥～常乾塗装用遮熱塗料

# ミラクール H01ND



二液型

セラミック複合ハルスハイブリット遮熱塗料

工業用の遮熱塗料として、現場改修や焼付ができない大型被塗物に対する自然乾燥～強制乾燥タイプを開発しました。汚染防止型セラミック複合ハルスハイブリット樹脂の採用により、超高耐候性、非汚染性、セルフクリーニング性を実現。高反射性の持続・維持が可能となります。屋外の配電盤、電子・電機機器の外面に塗布することで内部の温度上昇を抑制します。

## 特長

- (1) 自然乾燥～強制乾燥タイプの二液型強溶剤塗料です。
- (2) 紫外線による樹脂の劣化を防ぐHALS(光安定剤)と、CHMA(耐水モノマー)樹脂を採用したことにより、フッ素樹脂に匹敵する耐候性を実現しました。
- (3) 非汚染性、セルフクリーニング性に優れています。
- (4) 塗膜は、耐薬品性にも優れています。
- (5) 特殊高反射顔料の採用により更に高い反射率を実現しました。

## 用途

外装パネル、配電盤、キュービクル、電機機器など

## 適用素材

鉄鋼、アルミニウム、ステンレス、亜鉛メッキ鋼板、粉体塗装面など

## 荷姿・内容量・色

【荷姿】主剤 12kg/18L石油缶 硬化剤 4kg/角缶

【指定色】色相には限界がありますので、事前にご相談下さい。

## 塗膜性能

試験項目	試験方法	ミラクールH01ND
密着性	JIS K5400 8.5.2	100/100
硬度	JIS K 5400 8.4.2	3H-4H
エリクセン	JIS K 5400 8.2.2	4mm
耐衝撃性	JIS K 5400 8.3.2	500g X 40cm
耐酸性	10%硫酸浸漬120時間	合格
耐アルカリ性	10%苛性ソーダ浸漬120時間	合格
耐水性	常温水浸漬2ヶ月	合格
耐沸騰水性	沸騰水浸漬8時間	合格
耐塩水噴霧性	5%食塩水噴霧クロスカット入り500時間	0mm
耐汚染性	マジックインキ赤、黒48時間後、イソノールふきとり	合格
耐候性	サンシャインウェザーメーター4000時間	光沢保持率80%以上

試験板作成条件：(素材) アルミニウム材 クロメート処理鋼板

(上塗) ミラクールH01ND白 (常温乾燥 1 週間) 膜厚25 $\mu$ m



株式会社 ミラクール 〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-14-5 日本橋Kビル 1F

TEL 03-0349-0272 FAX 03-3249-0270 URL <http://www.miracool.jp>

## 塗装工程 (例)

### 1) 下塗り1回 + 上塗り1回

工程	
素地調整	塗装面の汚れ、油分、旧塗膜、錆の除去
下塗り 刷毛 ローラー エアースプレー※	塗料 ミラクールSⅡプライマー 混合比 主剤 100 : 硬化剤 17.8 希釈率 ローラー、刷毛 5~10% エアースプレー 15~20% 塗布量 0.18~0.22kg/m <sup>2</sup> (膜厚50~70μ) 乾燥 自然乾燥
インターバル	16時間以上(20℃)
上塗り 刷毛 ローラー エアースプレー	塗料 ミラクールH01ND 混合比 主剤 75 : 硬化剤 25 希釈率 ローラー、刷毛 0~10% エアースプレー 15~20% 塗装粘度 15~25秒(エアースプレー) 塗布量 0.10~0.12kg/m <sup>2</sup> (膜厚25~30μ) 乾燥 自然乾燥
可使時間	6時間/20℃

※SⅡプライマーをエアースプレー塗装する場合は、口径1.5mm以上のガンをご使用下さい。

\* 前処理は十分に行ってください。

\* シンナーは塗装機、環境に合った弊社の専用シンナーをご使用下さい。

\* 意匠性を求める場合は、上塗を0.75kg/m<sup>2</sup>で2回塗装して下さい。

### 2) 粉体塗装の塗膜がある場合(上塗り 1回)

工程	
素地調整	塗装面の汚れ、油分の除去
上塗り 刷毛 ローラー エアースプレー	塗料 ミラクールH01ND 混合比 主剤 75 : 硬化剤 25 シンナー 希釈率 10~20% 塗装粘度 15~25秒 塗布量 0.10~0.12kg/m <sup>2</sup> (膜厚25~30μ) 自然乾燥 硬化1日以上(20℃) 強制乾燥 80℃×30分~120℃×20分
可使時間	6時間/20℃

\* 粉体塗装品の表面に油分(指紋を含む)がついた場合は、必ず脱脂を行ってください。

## 施工上の注意事項

- 気温 5℃以下、湿度が 85%以上、結露が考えられる場合の塗装は避けて下さい。
- 塗装後 6 時間以内に降雨の恐れがある場合には作業を見合わせて下さい。
- 未乾燥塗膜上への結露を防ぐため、結露の可能性のある 6 時間前には塗装を終了して下さい。
- 風の強い日は塗装を見合わせて下さい。(目安として 5m/秒以上)
- 塗料は、内容物が均一になるように攪拌して下さい。薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がりが不良となりますので注意して下さい。
- 標準使用量以上の厚塗りはしないで下さい。また、施工時に塗料溜まりができないように注意して下さい。  
塗料溜まりができてしまった場合には、刷毛で平滑にして下さい。凹部、入り隅部での割れの原因になります。
- サビが発生しやすい溶接部などの現場接合部については、入念な下地調整後、補修塗装を行ってください。
- 硬化剤は水分と反応しやすい為、開封後は密栓し冷暗所で保管し、早急に使い切ってください。
- 可使時間を過ぎた混合塗料は使用しないで下さい。
- 塗料、シンナー及び洗い溶剤は適切に処理して下さい。
- よくフタをし、5℃~30℃の室内で保管して下さい。

## 製品取扱上の注意事項

安全・衛生に注意し、正しく製品をご利用いただくために、特に下記の事項を守ってください。

- こぼれたときには、砂等を散布した後、布類(ウエス)で拭き取って下さい。
- 取り扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- 目に入ったときには、多量の水で洗い、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 完全にふたをし、一定の場所を定めて、子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 換気を行い火気には十分注意して下さい。
- 捨てるときは、産業廃棄物として処理して下さい。
- 詳細な内容については、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

